

Windows 11 での ローカルアカウント作成方法

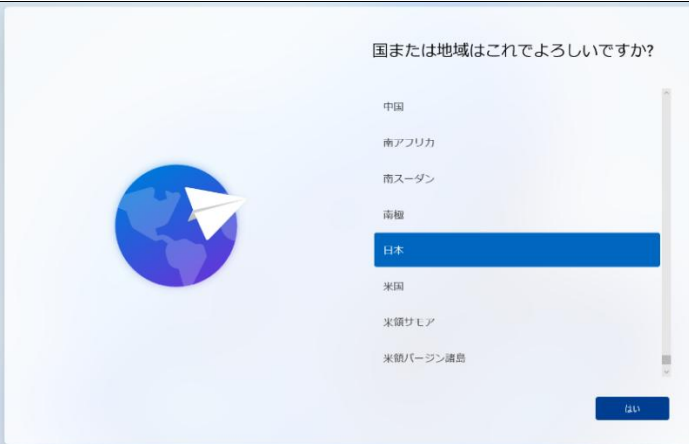
第 3 版

作 成 者	情報基盤センター
作 成 日	2024 年 1 月 18 日
最終更新日	2026 年 3 月 9 日

目次

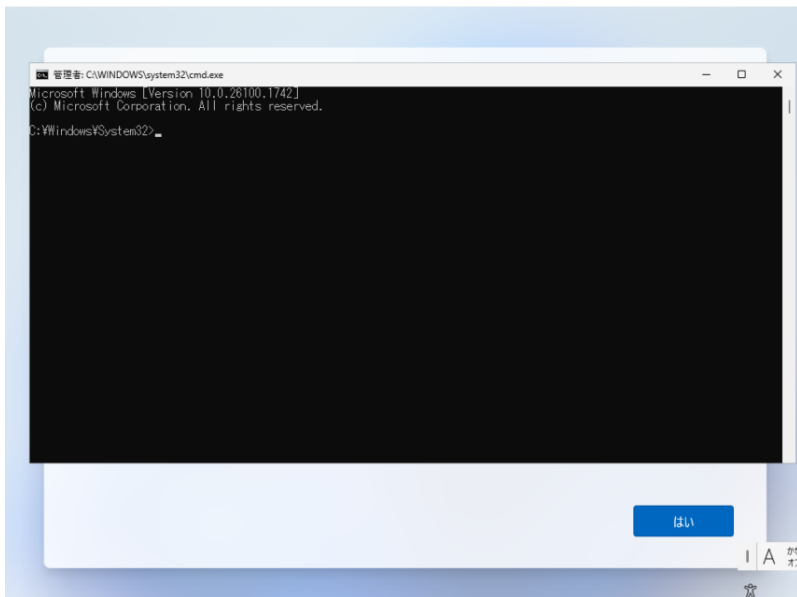
1. ローカルアカウント作成方法 1.....	3
2. ローカルアカウント作成方法 2	6
3. ローカルアカウント作成方法 3 (Windows11 Pro 限定).....	12
4. (注意事項) ドライブの暗号化 (Bitlocker) について	15

1. ローカルアカウント作成方法 1

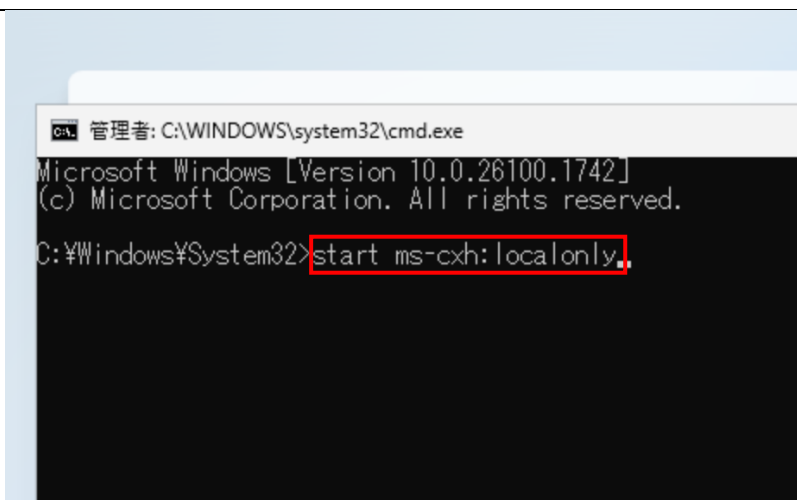


↓ (Shift+F10 を押す)

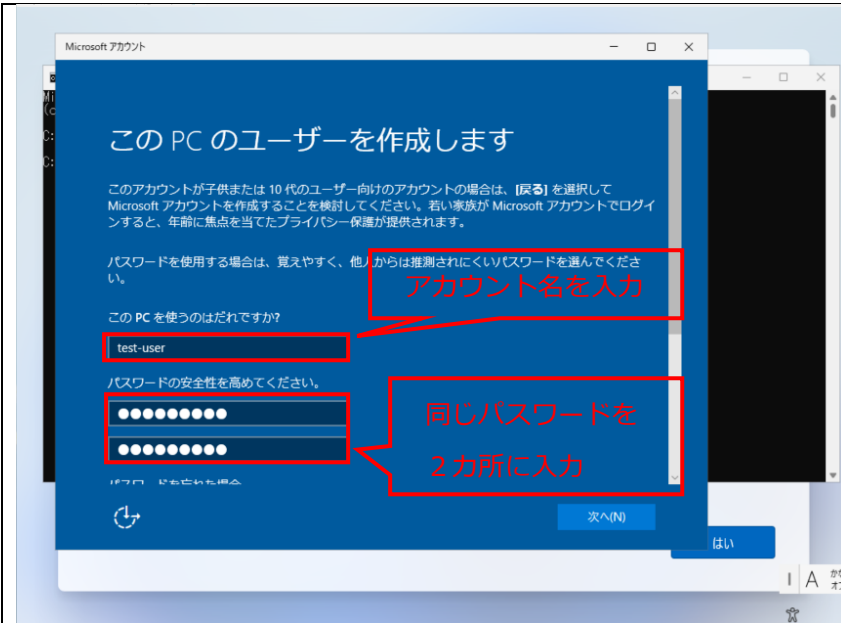
コマンドプロンプトが起動



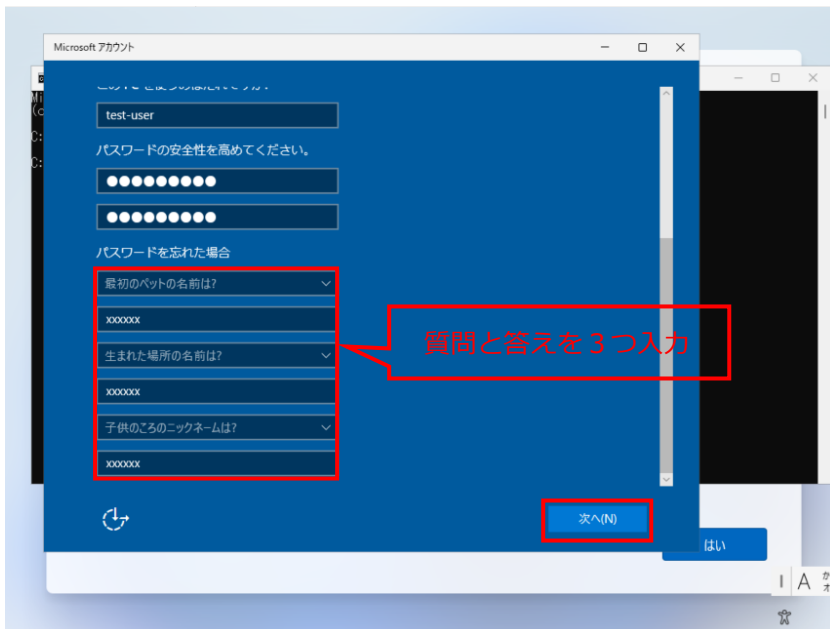
1. 「国または地域はこれによろしいですか?」の画面が表示されたら、Shift+F10 を押してコマンドプロンプトを起動する。

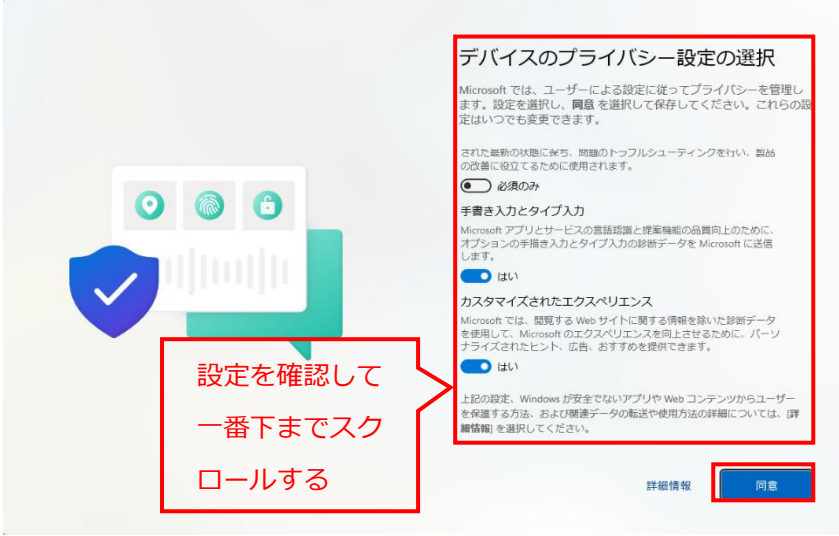


2. 「start ms-cxh:localonly」と入力してから Enter を押す。
(再起動が実行される)



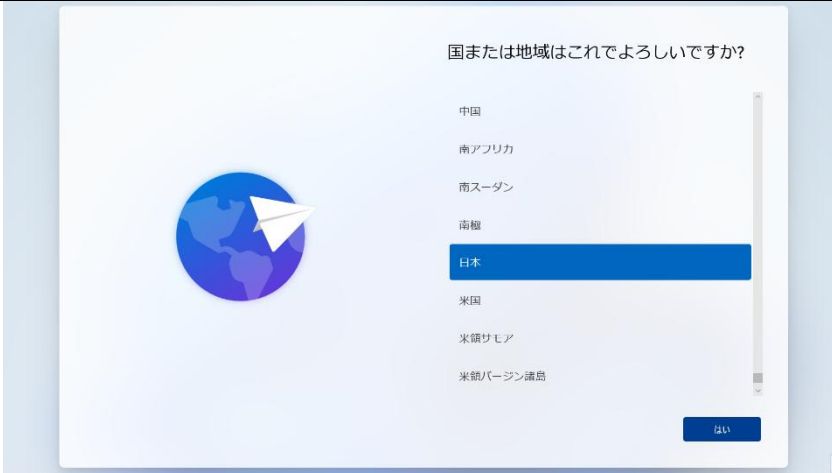
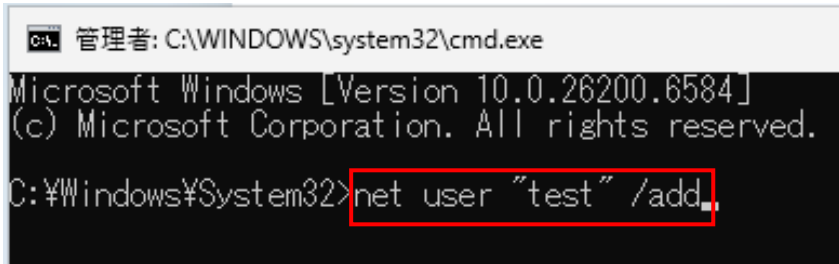
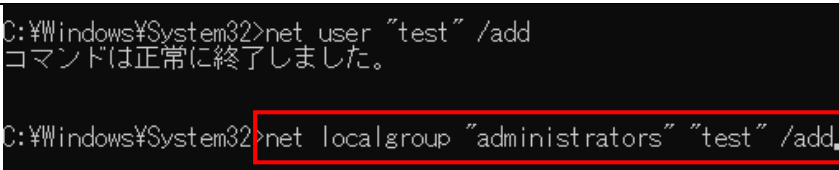

3. 「この PC のユーザーを作成します」の画面が表示されたら、「この PC を使うのはだれですか？」欄にユーザー名を、「パスワードの安全性を高めてください」欄にパスワードを、「パスワードを忘れた場合」欄に質問とその答えを3つ入力して「次へ」をクリックする。



 <p>The screenshot shows the 'Device Privacy Settings Selection' screen in Windows 11. It contains several sections with toggle switches: 'Required only' (必項のみ), 'Handwritten input and typing input' (手書き入力とタイプ入力), and 'Customized experience' (カスタマイズされたエクスペリエンス). Each section has a 'はい' (Yes) toggle switch turned on. A red box highlights the '同意' (Agree) button at the bottom right. A red callout box on the left contains the text: '設定を確認して一番下までスクロールする' (Check the settings and scroll to the bottom).</p>	<p>4. 「デバイスのプライバシー設定の選択」の画面が表示されたら、設定を全て確認して、一番下までスクロールさせてから「同意」をクリックする。</p>
	<p>5. 以上でローカルアカウントの作成は終了です。</p>

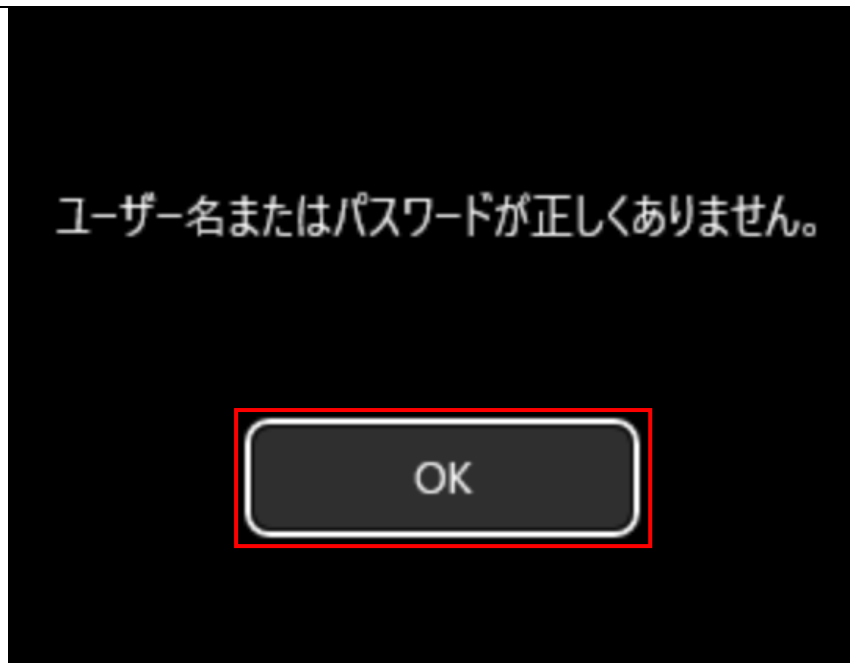
2. ローカルアカウント作成方法 2

作成方法 1 で作成できない場合はこちらの方法で作成します。

 <p>↓ (Shift+F10 を押す) コマンドプロンプトが起動</p> 	<p>1. 「国または地域はこれによろしいですか?」の画面が表示されたら、Shift+F10 を押してコマンドプロンプトを起動して、「net user “任意のユーザー名” /add」と入力してから Enter を押す。 (このマニュアルでは「任意のユーザー名」の部分 test としています)</p>
	<p>2. 「コマンドは正常に終了しました。」と表示されたら「net localgroup “Administrators” “任意のユーザー名” /add」と入力してから Enter を押す。</p>
	<p>3. 「コマンドは正常に終了しました。」と表示されたら「cd oobe」と入力してから Enter を押す。</p>

```
C:\Windows\System32>net user "test" /add  
コマンドは正常に終了しました。  
  
C:\Windows\System32>net localgroup "administrators" "test" /add  
コマンドは正常に終了しました。  
  
C:\Windows\System32>cd oobe  
C:\Windows\System32\oobe>msoobe && shutdown -r
```

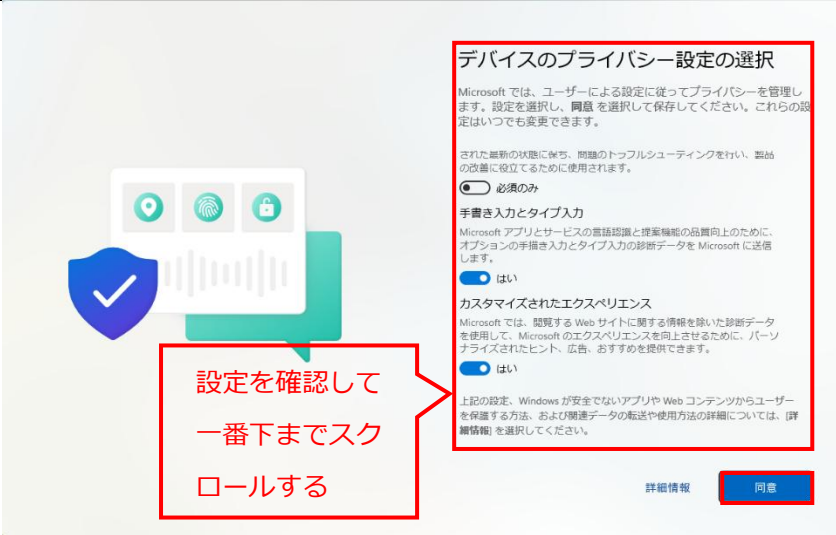

4. 「¥Windows¥System32¥oobe」と表示されたら「msoobe && shutdown -r」と入力してから Enter を押す。

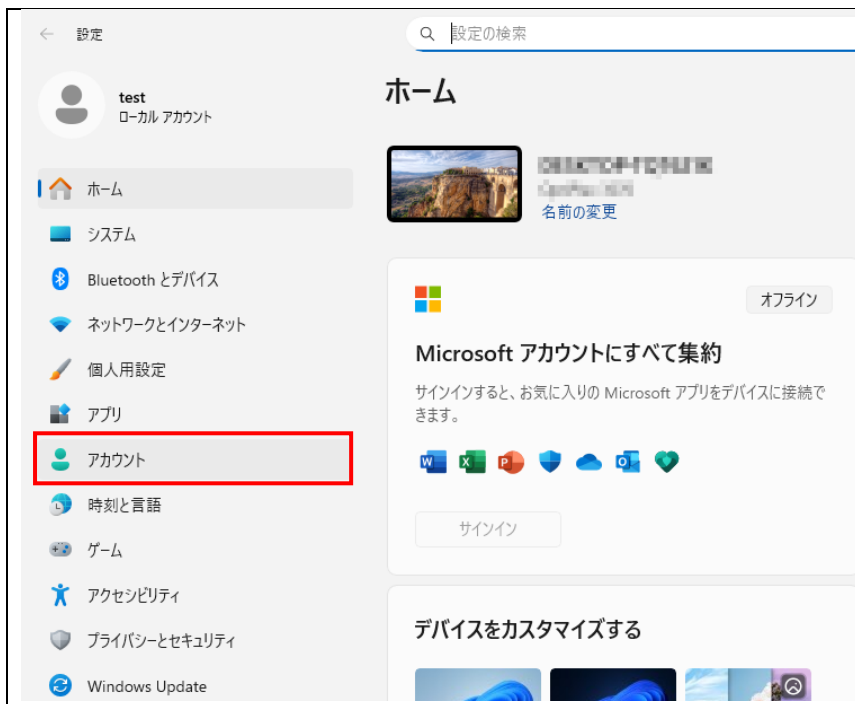


5. PC が再起動されると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるが、無視して「OK」をクリックする。



6. 「defaultuser0」というユーザーのパスワードを求められる画面が表示されたら、左下に表示されている手順 1.と 2.で入力したユーザー名のアカウントをクリックする。

 <p>設定を確認して 一番下までスク ロールする</p>	<p>7. 「デバイスのプライバシーの選択」の画面が表示されたら、設定を全て確認して、一番下までスクロールさせてから「同意」をクリックするとローカルアカウントが作成されます。なお、この時点ではパスワードが設定されていないので、引き続きパスワードの設定を行います。</p>
 <p>右クリックする</p>	<p>8. スタートボタンを右クリックして表示されたメニューの中から「設定」をクリックする。</p>



9. 左のメニューから「アカウント」をクリックする。



10. 右の画面に表示された「サインインオプション」をクリックする。



11. サインインオプションのメニューから「パスワード」をクリックする。



12. 「パスワードを使用して、Windows、アプリ、サービスにサインインする」の横にある「追加」をクリックする。

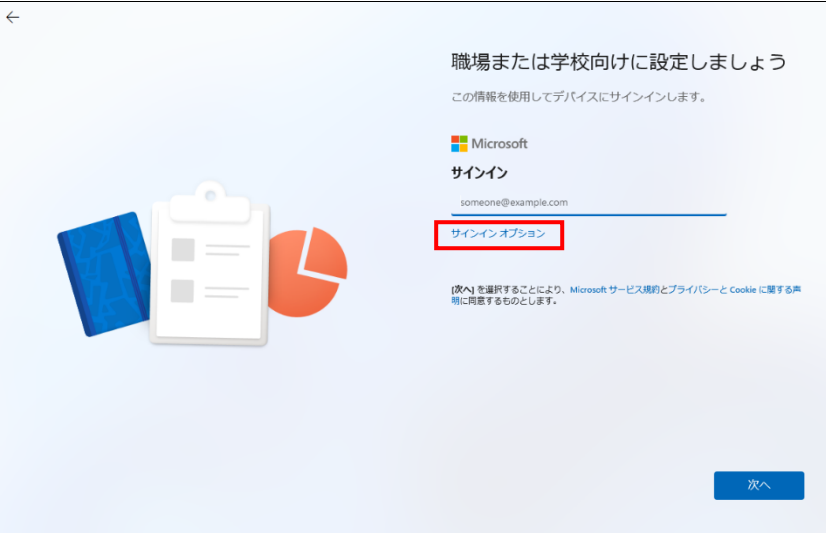
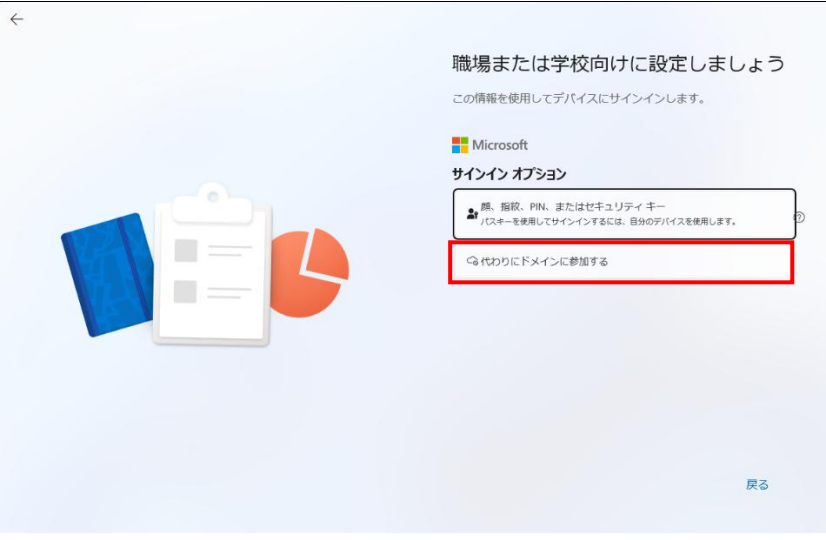

	<p>13. 「新しいパスワード」欄と「パスワードの確認入力」欄に同じパスワードを、「パスワードのヒント」欄にパスワードが連想できる文言を入力して「次へ」をクリックする。</p>
	<p>14. 「完了」をクリックしたらパスワードの設定は終了です。</p>



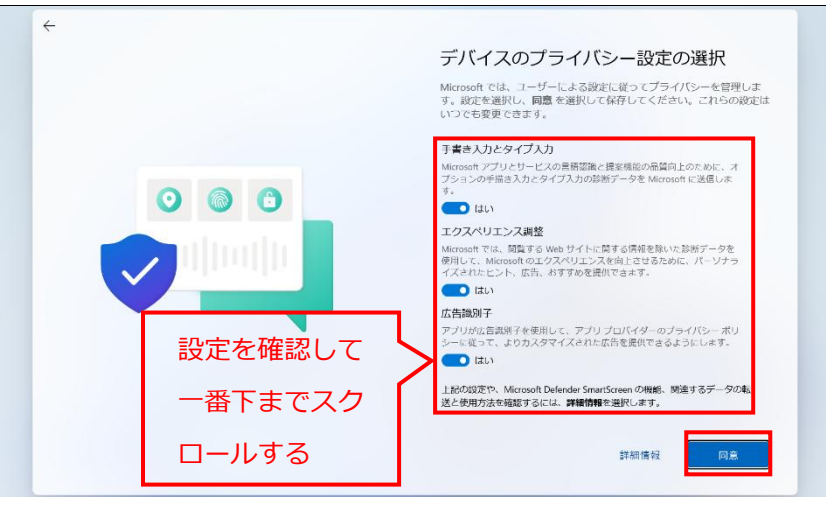
3. ローカルアカウント作成方法3 (Windows11 Pro 限定)

Windows11 Pro の場合はこちらの方法でローカルアカウントを作成可能です。

ネットワークに接続している状態で操作してください。

	<p>1. 「国または地域はこれよろしいですか？」の画面が表示されたら「はい」をクリックする。</p>
	<p>2. 「デバイス名を入力」の画面が表示されたら PC の名前を入力して「次へ」をクリックする。 6. で入力するユーザー名と重複しない名前を入力する。</p>
	<p>3. 再起動後に「このデバイスをどのように設定しますか？」と表示されたら「職場または学校用に設定する」を選択して「次へ」をクリックする。</p>

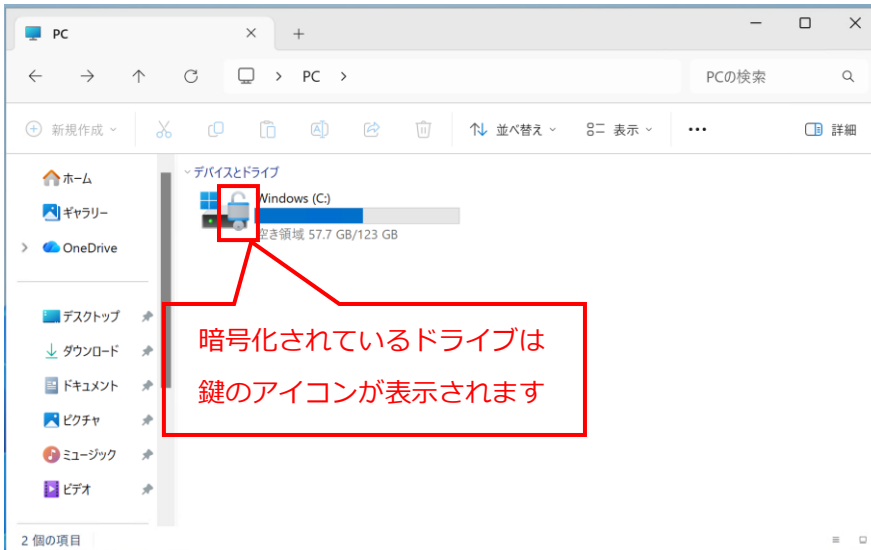
	<p>4. 「職場または学校向けに設定しましょう」の画面が表示されたら「サインインオプション」をクリックする。</p>
	<p>5. 「サインインオプション」が表示されたら「代わりにドメインに参加する」をクリックする。</p>
	<p>6. 「このデバイスを使うのはだれですか?」の画面が表示されたら、ユーザー名を入力して「次へ」をクリックする。</p>

	<p>7. 「確実に覚えやすいパスワードを作成します。」の画面が表示されたら、パスワードを入力して「次へ」をクリックし、「パスワードの確認」の画面が表示されたら、再度パスワードを入力して「次へ」をクリックする。</p>
	<p>8. 「ここでセキュリティの質問を追加します」の画面が表示されたら、質問を選択してから答えを入力して「次へ」をクリックする。これを3回繰り返す。</p>
	<p>9. 「デバイスのプライバシー設定の選択」の画面が表示されたら、設定を全て確認して、一番下までスクロールさせてから「同意」をクリックする。</p>
	<p>10. 以上でローカルアカウントの作成は終了です。</p>

4. (注意事項) ドライブの暗号化 (BitLocker) について

Windows にはドライブを暗号化してデータを保護するセキュリティ機能があります。

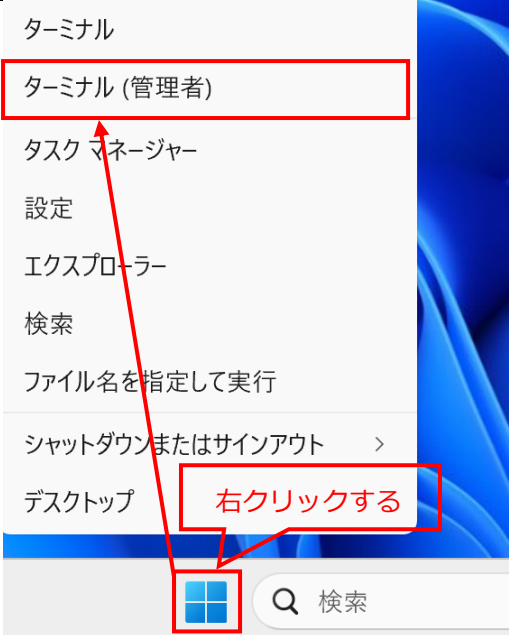
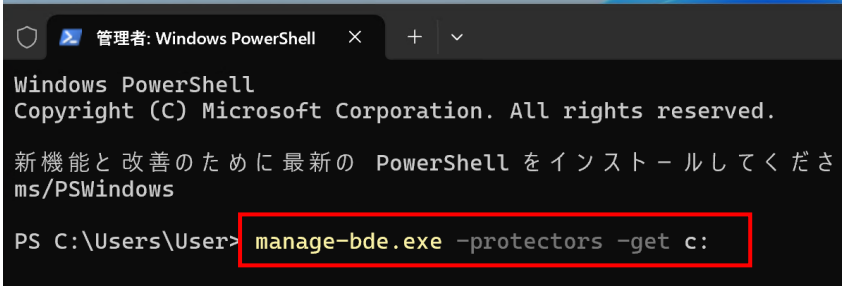
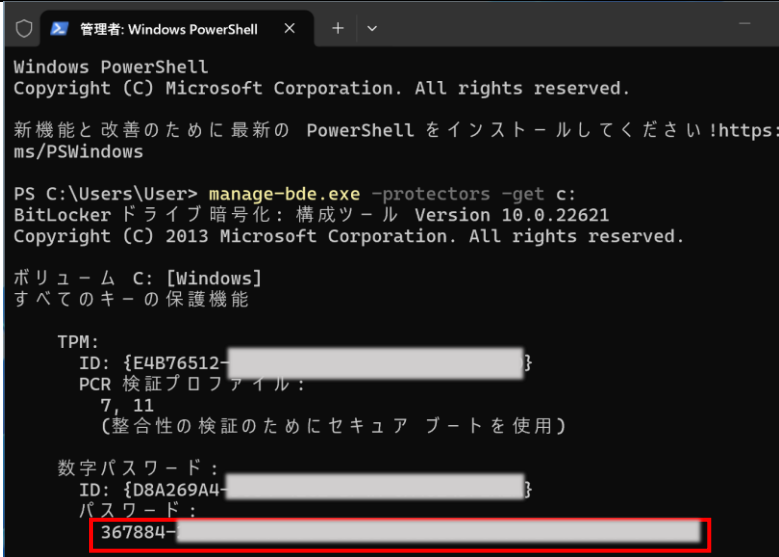
暗号化されたドライブにアクセスするためには回復キーが必要になるため、パソコンが盗まれた場合でもデータを読み取られるリスクを軽減することができます。



通常の利用では回復キーを求められることはありませんが、Windows Update や BIOS・UEFI のアップデートなどが原因で、パソコンの起動時に回復キーの入力を求められる場合があります。このとき回復キーを把握していないと、パソコンを起動することができなくなります。



ローカルアカウントの場合は各自で回復キーを管理する必要があります。また、自動で暗号化が有効化されるケースがあるため、該当する場合は次の手順で回復キーを調べてください。

 <p>ターミナル ターミナル (管理者) タスク マネージャー 設定 エクスプローラー 検索 ファイル名を指定して実行 シャットダウンまたはサインアウト > デスクトップ</p> <p>右クリックする</p>	<p>1. スタートボタンを右クリックして表示されたメニューの中から「ターミナル (管理者)」をクリックする。</p>
 <pre>Windows PowerShell Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved. 新機能と改善のために最新の PowerShell をインストールしてください。 ms/PSWindows PS C:\Users\User> manage-bde.exe -protectors -get c:</pre>	<p>2. 「manage-bde.exe -protectors -get ドライブ名:」と入力してから Enter を押す。</p> <p>Cドライブが暗号化されている場合は「manage-bde.exe -protectors -get c:」と入力</p>
 <pre>Windows PowerShell Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved. 新機能と改善のために最新の PowerShell をインストールしてください!https://ms/PSWindows PS C:\Users\User> manage-bde.exe -protectors -get c: BitLocker ドライブ 暗号化: 構成ツール Version 10.0.22621 Copyright (C) 2013 Microsoft Corporation. All rights reserved. ボリューム C: [Windows] すべてのキーの保護機能 TPM: ID: {E4B76512- [redacted] } PCR 検証プロファイル: 7, 11 (整合性の検証のためにセキュア ブートを使用) 数字パスワード: ID: {D8A269A4- [redacted] } パスワード: 367884-</pre>	<p>3. 赤枠の 48 桁の数字が、回復キーになるため、メモや写真を撮るなどして別媒体に保存しておいてください。</p>